

NYマーケットレポート (2022年3月10日)

2022年3月10日 (木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	25,690.40	+972.87	-10.77%	USD/JPY	116.13	116.20	115.81
ハンセン指数	20,890.26	+262.55	-10.72%	EUR/JPY	127.56	128.87	127.42
上海総合	3,296.09	+39.70	-9.44%	GBP/JPY	151.93	153.00	151.89
韓国総合	2,680.32	+57.92	-9.99%	AUD/JPY	85.46	85.54	84.58
豪ASX200	7,130.83	+77.80	-4.22%	EUR/USD	1.0985	1.1121	1.0976
シンガポールST	3,240.73	+45.35	3.75%	BRL/JPY	23.055	23.089	22.804
インドSENSEX	55,464.39	+817.06	-4.79%	RUB/JPY	0.826	0.875	0.784

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,099.09	-91.63	-3.87%	NY GOLD	2,000.40	+12.20	9.40%
仏CAC40	6,207.20	-180.63	-13.22%	NY 原油	106.02	-2.68	40.97%
独DAX	13,442.10	-405.83	-15.38%	CBOTコーン	755.75	+22.75	27.39%
スペインIBX35	8,069.30	-93.80	-7.40%	CRB指数	291.321	-0.766	25.37%
イタリアFTSE MIB	22,886.69	-1002.80	-16.31%	ドル指数先物	98.540	+0.572	3.00%
トルコ・イスタンブール100	2,042.01	-0.69	9.92%	VIX指数	30.23	-2.22	75.55%
ロシアRTS	休場		#VALUE!				
南ア全株指数	73,889.41	+1204.59	0.24%				

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	33,174.07	-112.18	-8.71%	CME Bitcoin(先物・期近)	39350	42040
S&P500	4,259.52	-18.36	-10.63%	Ripple(XRP)【BSTP】	0.739	0.763
NASDAQ	13,129.96	-125.59	-16.08%	Ethereum【BSTP】	2604.24	2709.62
				Bitcoin Cash	290.27	309.50

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	オセアニア国債利回り	本日	前日
カナダ・トロント総合	21,581.70	+88.47	1.69%	オーストラリア10年債	2.372%	2.322%
メキシコ・ボルサ指数	53,387.62	-524.13	0.22%	ニュージーランド10年債	2.967%	2.917%
ブラジル・ボベスパ指数	113,663.10	-237.20	8.43%	日本国債利回り		
				2年債	-0.028%	-0.038%
				10年債	0.194%	0.167%
				30年債	0.886%	0.872%

3/11 経済指標スケジュール	欧州国債利回り	本日	前日
08:30 【日本】1月家計調査消費支出	ドイツ10年債	0.274%	0.216%
08:50 【日本】1Q景況判断BSI[大企業製造業]	英国 10年債	1.523%	1.526%
16:00 【ドイツ】2月消費者物価指数	フランス 10年債	0.750%	0.660%
16:00 【トルコ】1月経常収支	イタリア 10年債	1.900%	1.680%
16:00 【英国】1月商品貿易収支	スペイン 10年債	1.270%	1.140%
16:00 【英国】1月サービス業指数	米国債利回り		
16:00 【英国】1月鉱工業生産	2年債	1.696%	1.680%
16:00 【英国】1月製造業生産高	10年債	1.986%	1.953%
16:00 【英国】1月鉱工業生産	30年債	2.367%	2.335%
16:45 【フランス】2月企業センチメント指数(時間不確定)			
21:00 【メキシコ】1月鉱工業生産			
22:30 【カナダ】2月失業率			
22:30 【カナダ】2月雇用ネット変化率			
22:30 【カナダ】2月労働参加率			
00:00 【米国】3月ミシガン大学消費者信頼感指数			

3/11 主要会議・講演・その他予定
 ・米国夏時間 (13日～)

NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

主要な欧州経済指標の結果

欧州中銀 政策金利 0.00%（予想 0.00%・前回 0.00%）

欧州中銀 下限政策金利[中銀預金金利] -0.50%（予想 -0.50%・前回 -0.50%）

欧州中銀 上限政策金利[限界貸出金利] 0.25%（予想 0.25%・前回 0.25%）

ECB 声明

- ・「金利は現在よりも低くなる可能性」との文言削除
- ・「利上げの直前に資産購入を終了」の文言を削除
- ・PEPP（コロナ対応緊急資産買い入れプログラム）の純購入は 3 月で終了
- ・APP（資産買い入れプログラム）は 7-9 月に終了する可能性
- ・今年のインフレ率を 5.1%（従来 3.2%）と予測
- ・今年のユーロ圏経済成長率を 3.7%（従来 4.2%）と予測

ラガルド ECB 総裁の主な発言

- ・経済環境は極めて不透明
- ・GDP は下方修正された
- ・インフレ率が 2%で安定する可能性は増した
- ・インフレ中期見通しが現状通りなら APP は 7-9 月終了
- ・戦争はインフレに対する大幅な上振れリスク
- ・物価上昇はさらに幅広く広がった
- ・成長見通しへのリスクは著しく増大した

米国の主要な経済指標の結果

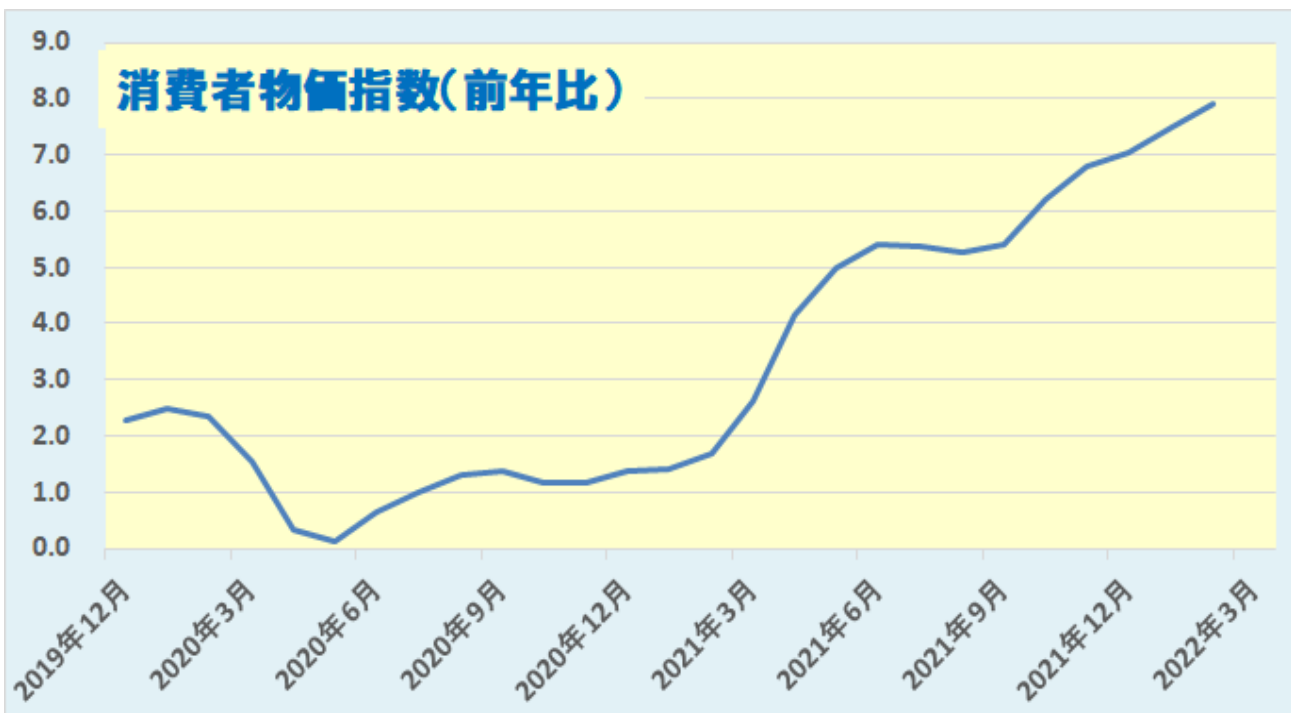
2月消費者物価指数（前月比）0.8%（予想 0.8%・前回 0.6%）

2月消費者物価指数（前年比）7.9%（予想 7.9%・前回 7.5%）

2月消費者物価指数[コア]（前月比）0.5%（予想 0.5%・前回 0.6%）

2月消費者物価指数[コア]（前年比）6.4%（予想 6.4%・前回 6.0%）

2月の米消費者物価指数は、前年比ベース 1982年1月以来、40年1ヵ月ぶりの大きさとなった。また、変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数も 1982年8月以来の大きさだった。エネルギーは+25.6%となり、ガソリンも+38.0%、また食品は+7.9%、中古車は+41.2%など幅広い品目で値上がりが目立った。

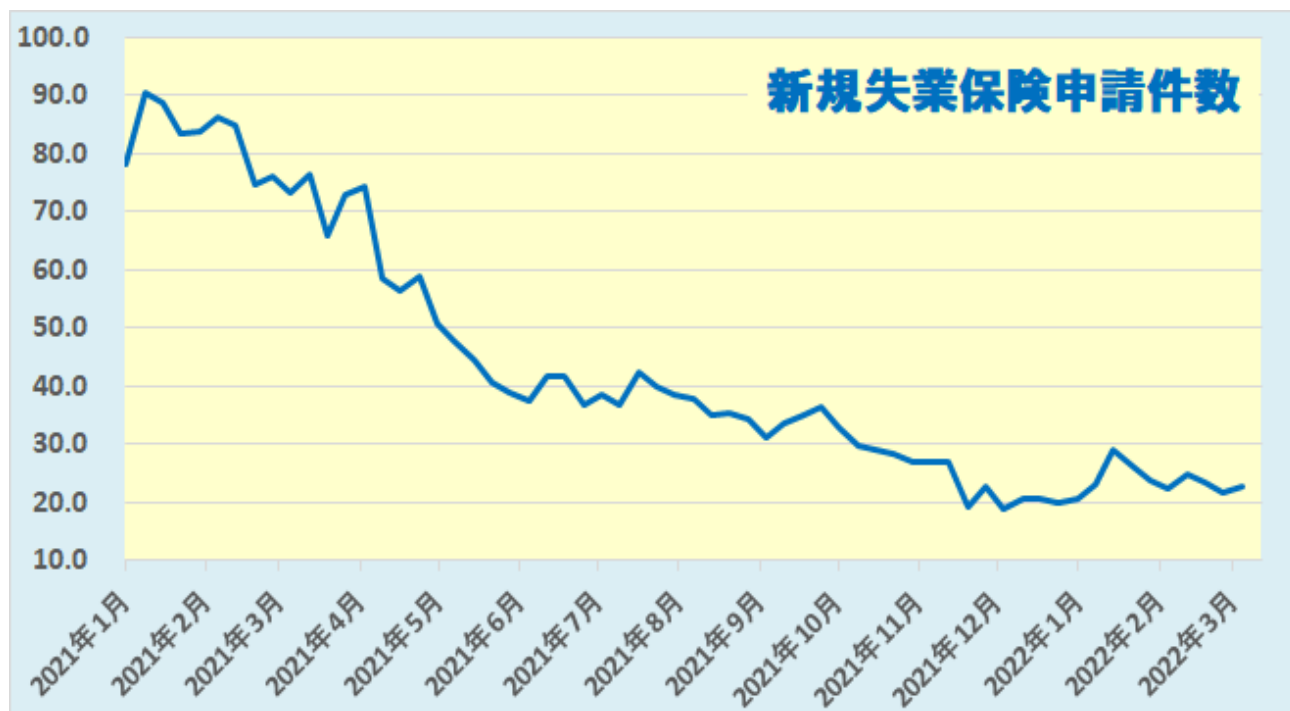


データを基に SBILM が作成

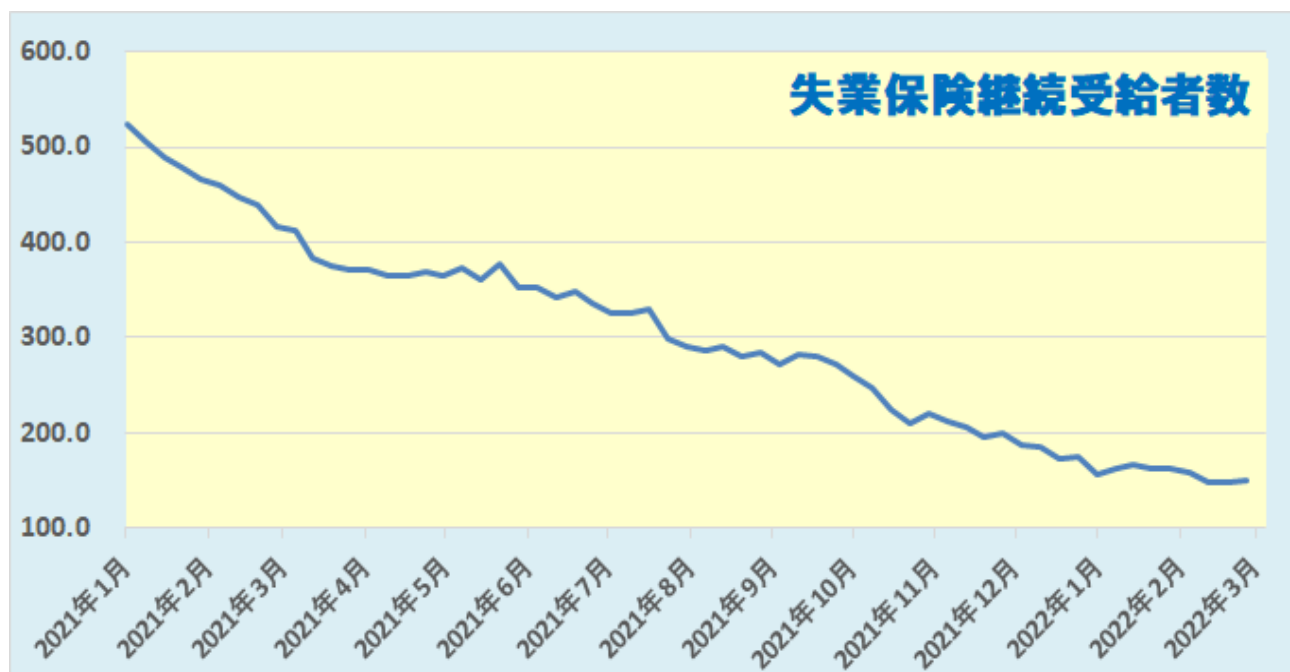
新規失業保険申請件数 22.7万件（予想 22.0万件・前回 21.5万件⇒21.6万件）

失業保険継続受給者数 149.4万人（予想 142.0万人・前回 147.6万人⇒146.9万人）

米新規失業保険申請件数（3/5までの週）は、前週比+1.1万件となり、3週ぶりに増加した。一方、失業保険継続受給者数（2/26までの週）は、前週比+2.5万人となり、6週ぶりの増加となった。オミクロン株の感染再拡大が一服して労働市場の改善が続いていたが、やや一服したと見られている。



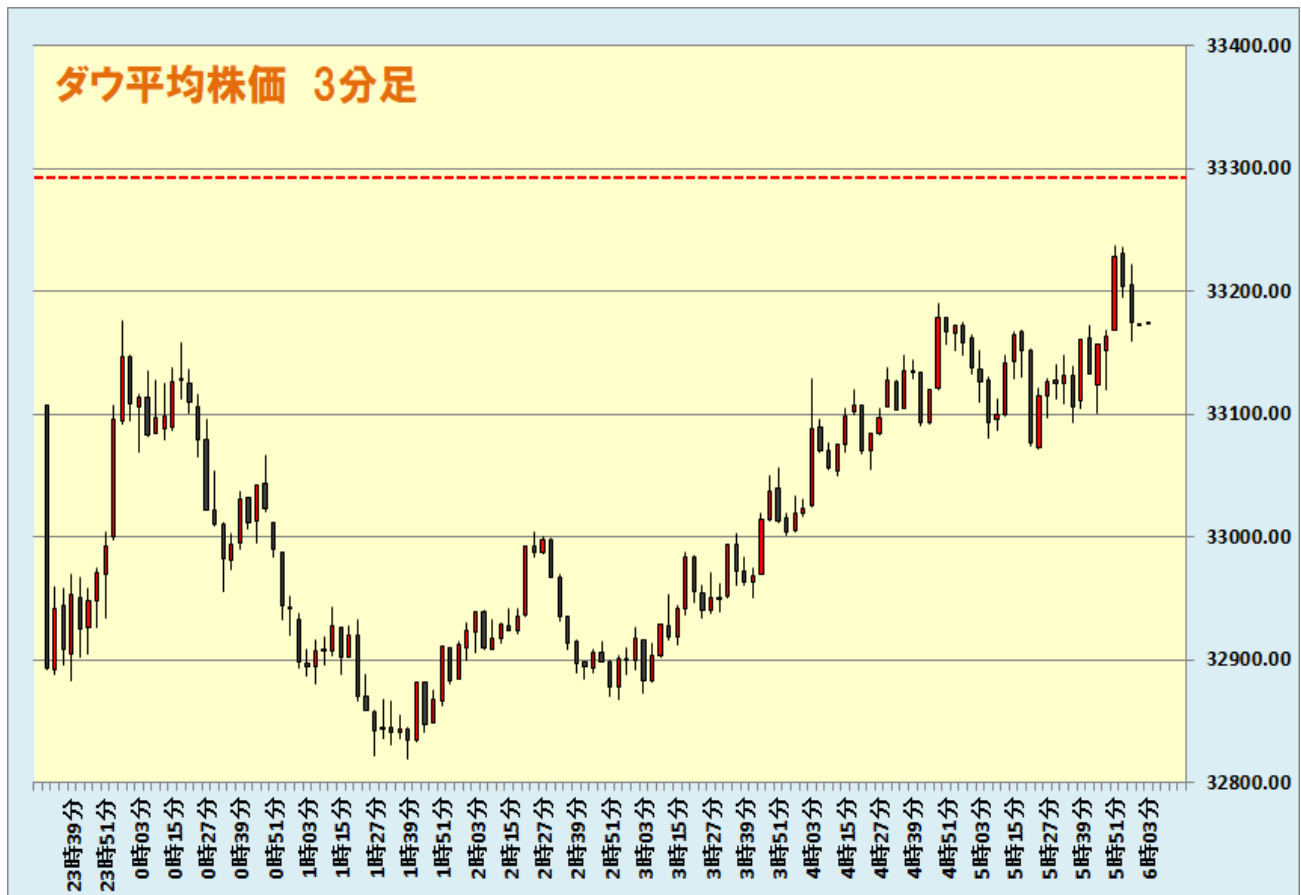
データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

米主要株価指数は反落

米株式市場では、ウクライナとロシアの外相会談で停戦に向けた進展が見られなかったことで、紛争の長期化が懸念され、主要株価指数は軟調な動きとなった。さらに、2月の米消費者物価指数が前年比ベースで約40年ぶりの大きさとなり、インフレが加速したことも圧迫要因となった。ダウ平均株価は序盤から軟調な動きとなり、一時前日比466ドル安まで下落した。その後、下げ幅を縮小して112.18ドル安（-0.34%）で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは、125.59ポイント安（-0.95%）で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	-1.94%	1	アップル	-2.72%
2	テクノロジー	-1.59%	2	P&G	-2.57%
3	通信サービス	-0.97%	3	シスコシステムズ	-2.16%
4	金融	-0.74%	4	インテル	-2.04%
5	資本財	-0.25%	5	アマゾン	-1.95%

データを基に SBILM が作成

ユーロはドルや円に対して上値の重い動き

NY市場では、序盤に発表された2月の米消費者物価指数が、前年比ベース1982年1月以来、40年1ヵ月ぶりの大きさとなった。これを受けて米10年債利回りが1.927%から2.017%まで上昇し、2/25以来約2週間ぶりに2%台を回復したことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなり、対円では119.19まで上昇したものの、アジア時間に付けた119.20には届かなかった。上昇一服後は、米主要株価指数が下げ幅を拡大したこともあり、ドルは対円で上値の重い動きとなった。一方、ユーロはECB理事会の結果発表で、量的緩和策の縮小を発表し、さらに「金利は現在より低くなる可能性」との文言を削除したことを好感して、ユーロは主要通貨に対して上昇していた。しかし、今年のユーロ圏経済成長率を下方修正したことや、ラガルドECB総裁が会見で「成長見通しへのリスクは著しく増大した」との見方を示したことを受けて、ユーロは下落に転じた。その後、下落した米主要株価指数が下げ幅を縮小したこともあり、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。